

足立区新聞販売同業組合員 各位

◇◇ 平成30年度「新聞教材事業」に「正規購読料」を要望 ◇◇



昨年の要望は叶いませんでした。が今回の要望は、文科省からの学習指導要領の改定案ができましたので、是非 叶えて頂きたい。私たち新聞組合は「協働から協創へ 地元足立区と共に」を合言葉に、地域貢献活動を実施しています。更なる活動継続のために予算付けを賜りたくお願い申し上げます。！！

新聞を活用した学びの大きな魅力は、次の3つの学力を育てることができることです。第1は、「思考力・判断力・表現力」です。なぜなら、深く情報読解された新聞記事は、それ自体がすぐれた学習材となります。子どもたちが行う新聞づくりの活動は、思考・判断・表現の活動そのものだからです。第2はこれらの力の土台となる言葉の力やコミュニケーションを育てることができることです。そして第3は、記事の中に登場する、社会をつくり、それを動かす人間に関心を持つようになることです。広島大学院教授 小原友行 談



組合活動報告

平成29年7月14日(金)
今年も「新聞配達の日」に区議会自民党を訪問しました。新井英生団長、古性重則幹事長、工藤哲也政調会長に、当組合の長崎組長より、平成30年度予算要望書を手渡しました。

◆ 学校教材事業のあゆみ ◆
平成26年11月から、区内推進モデル小学校5校に新聞5紙無償配布開始。

平成27年度より区内69小学校と37中学校、計106校に、教材事業として新聞の提供開始。

平成28年度は、105校の小中学校に、新聞教材として2年目の教材活動開始。
★都立高等学校3学年57教室に新聞6紙を教材提供開始。

★「選挙権を持つ君へ」
区内11の高等学校3年生全員に届くよう、参議院選挙前に、三千冊を寄贈しました。

平成29年度も、104校の小中学校に、新聞教材として3年目の活動実行中です。

都立高等学校3学年56教室へ新聞6紙提供。「選挙権を持つ君へ」都議会選挙前に、三千冊寄贈しました。共に2年目となり、生徒の投票参加を喜ぶ、先生から感謝の言葉賜りました。

足立区新聞販売同業組合
組合長 長崎荘一郎 (A梅島)
副組合長 河野伸夫 (A竹の塚西口)
副組合長 小林敬明 (M大師前)
副組合長 相馬守博 (Y北綾瀬)
副組合長 人見一尋 (S西新井駅西口)
常任相談役 福田和也 (M舎人町)
顧問 布施和彦 (S竹の塚)
行政担当事務局 香取精一 (サンイ城北広告社)
http://www.adachi-shinbun.com